

九州大学生協 タヌロータイム・部内勉強会

第008号
(通算483号)



[健康と安全]

取り組み概要

日時：2021年10月～12月 週1回程度
場所：食堂
参加者数や組合員の反応：タヌロータイム3回、勉強会4回を通して、共済局員のさらなるやる気アップと部員の共済に対する知識向上に繋がった。

背景や概要：九州大学にはサポートセンターがない。また、九大生協そしき部は部局制をとっている。入学前説明会の個別対応の中でそしき部員全員が共済について説明する場面があり、そのための勉強会が行われた。

自信を持って共済について説明するための時間

POINT.1 幅広い人との連携へ



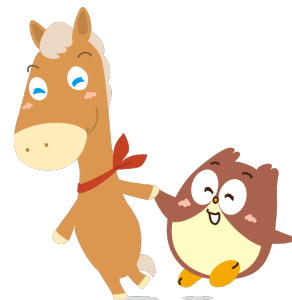
九州共済セミナーや全国共済セミナーで学んだことをもとに勉強会の資料が作成されており、共済局員だけでなく**部員全員に各セミナーでの学びを広げています**。各部局が部員全体へ情報共有していこうという雰囲気にもつながっています。

また、制度面や共同引受など、共済局員ではわからない部分については、**職員さんと協同**しつつ資料を作成しました。この機会を通して職員さんとの交流が広がっています。

POINT.2 身近な話題から

今年度は勉強会とは別にタヌロータイムという時間を設けています。1年生の部員には共済を知らない人もいましたが、部員全員が共済について学ぶ必要がありました。誰も取り残されないように、しっかり**現状を見据えながら活動**していました。

タヌロータイムでは、共済のキャラクターである「タヌロー」・「スピック」などの紹介や、活動の基盤となる4本柱についての紹介をしていました。わかりやすい部分から共済が広められています。



POINT.3 制度面以外も大切に

たすけあいて？

“たすけたい”想いが
多方向に広がっていく



“たすけあい”

部内勉強会では制度面の話だけではなく、共済設立当初の想いや制度改定について、たすけあいの想いなどの話も行いました。昨年度までは1,2回の制度面のみに関する勉強会でしたが、自信を持って入学前説明会で話すためには**背景知識が大切**になります。数回に分けて継続的に勉強会をすることによって、制度面以外も学びの定着が進んでいました。今年度の入学前説明会に期待です。

つながる元気、ときめきキャンパス。

